

病診連携通信

臨床研修委員会主催の医学生向け講座を開催しました



メイヨークリニック ジム・シュメルザー教授
と安藤院長(懇親会場にて)

当院では、初期研修の海外研修として、毎年メイヨークリニック(アメリカ)とカルガリー大学(カナダ)の視察研修を実施しております。その関係で、10月24日にメイヨークリニックの神経内科助教授 ジム・シュメルザー先生に来日して頂き、医学生向けの講座を実施致しました。群馬大学医学部学生をはじめとして県外の大学からも聴講希望があり、とても好評でした。

また、今回はカルガリー大学の神経内科教授ダグラス・ザッカッドニー先生による医学生向け公開講座を11月21日に行いました。ご夫妻で来日されたため、奥様のバーバラ・ザッカッドニー(看護師)先生に『カナダにおける看護システムの現状』と題して地域医療機関向けに講演会を実施致しました。看護学校教育関係者をはじめ多くの参加があり、大変刺激になったと感想を話されていました。今後も魅力ある公開講座を企画し、微力ながら群馬県に多く研修医を迎えることができるよう、尽力してまいりたいと考えております。



バーバラ・ザッカッドニー先生
講演会の様子(左写真)

カルガリー大学
ダグラス・ザッカッドニー教授
講義の様子(右写真)



～臨床病理検討会(CPC)のお知らせ～

日時:平成20年12月4日(木) 18:30～19:30 場所:日高病院 6階大会議室

病理医:群馬大学大学院病態病理学教授 中里 洋一先生

臨床診断病名:転移性肝細胞瘍(70歳代 女性) 臨床医:日高病院内科 角田 毅先生

～腫瘍センター(PET/CT)についてお知らせ～



PET/CT 【Aquiduo】

検査による苦痛はほとんどなく
約2時間で全身のがん検査が可能です。

PETとは「ポジトロン断層撮影法」と呼ばれる画像診断です。がん細胞の代謝機能を調べることで、早期にがんの発見ができる検査です。がん細胞は正常細胞の3～8倍ものブドウ糖を摂取特徴を利用し、ブドウ糖によく似た薬剤(FDG)を注射し、FDGが病巣に多く集積することによって微小ながんも画像に写し出します。PETとCTが一体型となったPET-CTでは、PETによる生体の機能画像とCTによる病態画像を重ね合わせた鮮明な画像を一度で撮影できるため、病変部の位置や正確な診断を速やかに行うことができます。2次元、3次元の併用などフレキシブルな画像処理によって、微小ながんの発見や良性・悪性の適切な診断が可能でより正確な治療への貢献を致します。

日高病院腫瘍センターでは以下のサービスをご提供させていただきます

●訪問説明サービス

初めての診察や検査を受けるにあたって、患者様が不安になってしまうケースもあるようです。この様な、患者様に検査手順など説明をさせて頂いたり、パンフレットなどをお持ちして施設説明などをさせて頂くサービスです。

●送迎サービス

患者様がPET/CT検査などを受ける際、ご家族等がどうしても送迎できない場合もご相談ください。ご指定の場所までお迎えに伺わせていただきます。